

別記様式第1号(第8条関係)

令和 8 年 3 月 30 日

朝日町議会議長
阿 部 為 吉 殿

氏 名 鈴木義昭

令和7年度政務活動費に係る収支報告について

朝日町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項(第2項)に基づき、別紙のとおり、令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

氏 名 鈴木義昭

1 収 入
政務活動費 110,750 円

2 支 出

(単位: 円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	42,650	(有)エアー・トラベル
"	64,000	吉田タクシー
"	4,100	リポート珠洲
合 計	110,750	

注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

領 収 証

鈴木義昭

様

No. _____

★

¥42,650

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

但 研修旅行代金

2026 年 2 月 12 日 上記正に領収いたしました

収入印紙

消費税額等(10%) ¥3755-(△)

コクヨ ウケ-98

有限会社 ユアー・トラベル

山形県知事登録旅行業第2-216号

山形県寒河江市緑町46番地

TEL0237-83-1331

代表取締役 鈴木喜史

領 収 証

鈴木義昭

様

No. _____

金 額

¥32000

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

但 3/19~3/21 視察研修旅費と12

R8 年 2 月 12 日 上記正に領収いたしました

山形県西村山郡朝日町大字宮宿1159

吉田タクシ

吉 田 好 伸

TEL0237-67-3131

登録番号 T5810918938374

登録番号

収入印紙

GR266324

領 収 証

鈴木義昭

様

No. _____

金 額

¥32000-

内 訳

現 金

小 切 手

手 形

但 3/19~3/21 視察研修旅費と12

R8 年 2 月 12 日 上記正に領収いたしました

山形県西村山郡朝日町大字宮宿1159

吉田タクシ

吉 田 好 伸

TEL0237-67-3131

登録番号 T5810918938374

登録番号

収入印紙

GR266324

R 8 年 2 月 20 日

No.

鈴木義昭さま

¥

4,100-

税込み

但し、復興支援ツアー参加代金として

領収証



リブート珠洲

石川県珠洲市宝立町鶴島ハ字1番地3

宝立町第2団地 1-206

Tel.090-7111-1785

宮口 智美



R.8年.2月19日

福井県鯖江市の社会福祉法人光道園 障害者支援施設 ライトワークセンター

この度、福井県鯖江市にある光道園ライトワークセンターにて研修の機会をいただきました。光道園は障がいのある方々の自立支援や就労支援を目的として運営されており、地域社会と連携しながら多様な福祉サービスを展開している施設であった。

研修では、利用者の方々が行っている軽作業や製品づくりの現場を見学させていただきました。作業は人ひとりの特性や能力に応じて分担されており、無理のない工程管理がなされていました。また、職員の方々が利用者に対して丁寧に声かけを行い、安心して作業に取り組める環境づくりを徹底している姿が印象的であった。単に作業を提供する場ではなく、働く喜びや達成感も大切にしていることが伝わってきました。

さらに、地域とのかかわりも重視している点も学びとなりました。製品の販売や地域イベントへの参加を通じて、社会との接点を広げており、利用者の社会参加を積極的に支援している。福祉施設が地域に開かれ、存在意義を認識した。今回の研修で、当所出身の越原氏、宮口施設長さんにお話しし、ご案内をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

今回の研修を通じ、障がい福祉において最終的には「支援する」という方向の関わりではなく、共に成長し、尊重し合う姿勢であることが学びました。

R.8年.2月20日

石川県 珠洲市の(能登半島地震)復興状況視察

2024年7月1日に発生した能登半島地震によって、石川県珠洲市は壊滅的な被害を受け、市内では全壊・半壊した住宅が多く、1600世帯以上の住民が現在も仮設住宅に暮らしているなど、復興の長期化が顕著である。震災直後は断水や停電が広範囲に続き、水道復旧やインフラ整備が最優先に進められたが、奥能登地域を中心に未だ水道が完全に回復していない世帯も存在するなど、生活基盤の全面復旧には時間がかかっている。

復興支援の取り組みとして、企業や自治体、民間団体による支援も継続しており、自立型合併処理浄化槽トイレ設置支援や、避難所への支援物資提供が進む一方、物流インフラの再構築も進み始めている。また、地域文化・伝統産業の復興にも取り組まれている。伝統工芸である珠洲焼や、陶芸活動の再開も見られ、被災した陶芸窯の修復や共同制作による作品づくりが住民にもたらす精神的な支えとなっている。

総じて、珠洲市の復興は、基盤インフラの再建と並行して、地域文化・生活再建の両面から進んでいるものの、住宅再建や地域経済の完全回復には未だ課題が多く、支援の継続的な地域活性化策が不可欠であると感じました。